

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 城南観光株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		お客様が捨てた物も含め社内から出た全ての廃棄物の処理は廃棄物処理業者に依頼をしており、然るべき処理を行っている。コース管理部においても環境に配慮した薬剤を使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月の電力使用量やガソリン、ガス使用量を把握し、その結果を従業員に周知し各々が冷暖房の調節、小まめな節電やクールビズ及びウォームビズ活用等エネルギー削減に努めている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		原油換算エネルギー使用量305kl、CO2排出量559。温室効果ガスの排出量を削減出来るように日頃より社員不在時の消灯の徹底、節電、クールビズウォームビズでの適正室温、館内照明のLED化を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		日々コース内の整備を行っているが、資材は生態系に及ぼす影響を考慮し生物多様性の保全と持続可能な利用に配慮したものを調達し、お客様のプレー進行に影響を与えるもののみ整備を行っており、環境に配慮して業務を遂行している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		耐久性の高い商品の使用や従業員へのエコバッグの活用推奨に加え、複合機トナーをはじめ回収・リサイクルに努めている。社内使用する書類に関してペーパーレス化を進め、裏紙を利用するよう促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		お客様が使用する洗面所での節水を注意喚起している他、従業員に対しても節水を行うよう周知徹底を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		23年1月よりエコマークや省エネ性マーク等が付いた商品を積極的に購入し、使用に取り組む予定である。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		企業グループでフードドライブ活動を行っており、従業員より募った食料を子ども食堂へ寄付している。	1	2					6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		コース内を整備する際には緑の保全管理に注意し、必要なもの以外は伐採しないよう心掛けている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		コース管理業務において、樹木の適切な伐採や芝の育成を行っている。							6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		グループ企業が行っている阿蘇湯の谷の一万坪のホテル跡地を森へ蘇生させるプロジェクトに従業員も積極的に参加して活動を行っている。							6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		敷地内に電気自動車充電器を4台設置しており、お客様従業員へ環境にやさしい自動車の使用を促進している。またグループ企業が取扱っている電気自動車を従業員が購入する際は割引を行っており、電気自動車の使用を促進している。											9.4			11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13						17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 城南観光株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		定期的に社内で館内及びコース内の危険箇所や修復が必要な箇所を報告し合う場を設けており、常に安全性や品質を確保するよう対処している。			3.9							9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		障害者、高齢者誰もが利用しやすい施設作りを心掛けている。クラブハウス内においては極力段差をなくすような設計を行っている。										9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●						2.3 2.4			7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	天井や床、外壁内装のほとんどに木材を使用している。								7						12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	2022年12月より予防医学の観点から健康で長いゴルフライフを送るためにストレッチ、トレーニングのマシンを設置しサービスの展開を行う予定である。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●						2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		従業員への参画推奨だけでなく、グループ企業と共に「火の国チャリティオープン」というチャリティコンペを開催し、協賛金やチャリティオークションで集まった豪雨義援金を熊本県に贈呈している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		防災備蓄、防災グッズを保管している。コース内の危険箇所は把握しており、大雨や台風の際の安全管理に努めている。				4							11.5			13.1					16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	館内にAEDを設置し、定期的な救急救命訓練を実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5			13.1				16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12		13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	日頃より他企業が行っている活動を参考に情報収集を行いながら社内会議の場でSDGsの啓発活動を行っている。外部によるSDGsに関するセミナー等が開催される際は参加者を募り積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	積極的な職場体験・インターンシップ受け入れを実施している。				4					8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元熊本の学生を積極的に採用している。各高校へ訪問し卒業予定者に対して自社のPR活動を行っている。				4.4					8.5 8.6											17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15				17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。